

e-pile next

限られたスペースでも安全第一で施工します!

足立区 某共同住宅計画

本件は足立区某所に建設される壁式鉄筋コンクリート造5階建共同住宅の新築計画です。

当該地は東京の下町低地と呼ばれる沖積低地に属しており、シルト主体のN値の低い地層が厚く堆積している地域でもあります。概算当初にお預かりした資料より、敷地幅が5.4m程度で、支持層となる深度が36m以上、引抜耐力は杭で負担するという条件のもとご相談をいただきました。一番の課題は、限られたスペースの中、設計内容に合わせた最適な杭打機がどう動いて、杭材をどう仮置きすれば施工可能かを検証することでした。結果、コンパクトでありながら高トルクを誇る自社保有機DHJ-25(33T機)を選定し施工面を解決しました。また、引抜支持力については35m以深のN値50以上の砂礫層を支持層とし、水平荷重に対しては上杭に厚肉材を用いた設計提案でご理解いただき、e-pile nextをご採用いただくことができました。実施工に於いても、e-pile nextの特徴である先端特殊部の「高力構造」と、貫入性に優れた「菱形切削孔」が威力を発揮し、砂礫層の設計深度へも確実に貫入し、無事に完工いたしました。

元請様には撤入出誘導や養生鉄板の安全対策、近隣配慮等のご協力をいただき、安全且つ無事に完工する事ができました。

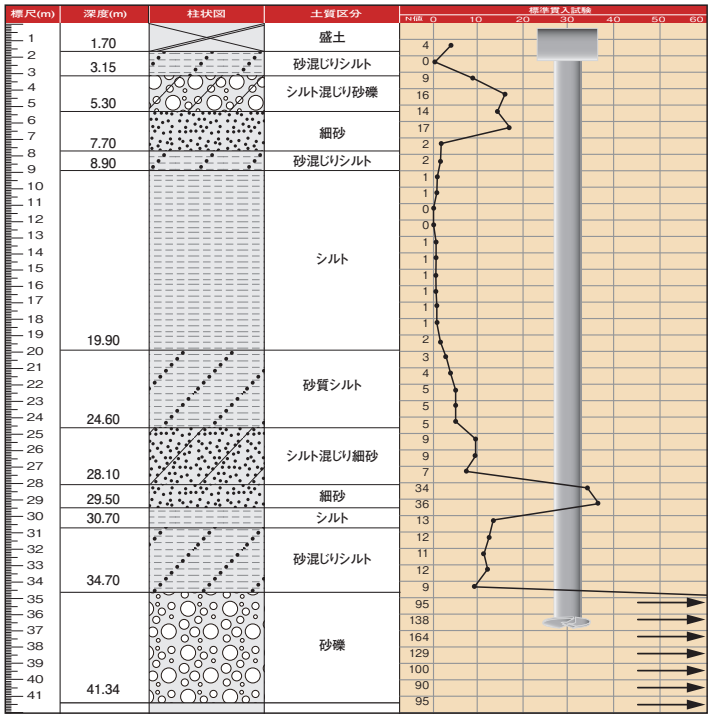
☆ご採用いただきまして、誠に有り難うございました。



工事概要

工事名	足立区 某共同住宅計画	杭 径	φ355.6 mm、φ318.5 mm
施工地	東京都足立区某所	拡翼径	Dw 650 mm、600 mm
用途	共同住宅	拡頭径	-
構造	壁式鉄筋コンクリート造 地上5階建	深 度	SGL-36.4m
延床面積	99.64 m ²	支持力	831kN ~ 991kN
工期	2023年5月29日~2023年6月8日	本 数	20本

ボーリング柱状図



国土交通省大臣認定工法

登録番号: KT-160071-A

国土交通大臣認定 TACP-0483 砂質地盤(礫質地盤含む) TACP-0484 粘土質地盤

日本建築センター 基礎評定(引抜支持力) 砂質地盤 BCI評定-FD0540-01 礫質地盤 BCI評定-FD0541-01 粘土質地盤 BCI評定-FD0542-01

日本環境協会 エコマーク認定 08 131022号

■ 全ての鍵は杭先端にあり

杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

■ 貫入性の問題を・・・「**菱型穴**」により解決しました。

■ 拡翼変形の問題を・・・「**特殊部**」により解決しました。

■ コストの問題を・・・「**自社施工**」により解決しました。

■ 高力構造 / 拡翼断面図

(両面溶接) (特殊部 / 分割構成)

■ FEM解析図

杭本体 特殊部 厚肉材

建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

🔍 e-pile

🔍 検索



中小企業の挑戦を応援する5つの報告書及びガイドラインが公表されました

経済産業省よりコロナ禍からの回復、人口減少、GX・DX等の構造転換が進む中、日本経済の更なる成長実現には、中小企業の成長が重要です。経済産業省は、成長に向けて挑戦する中小企業を応援する5つの報告書・ガイドラインが公表されました。

1. 中小企業の成長経営の実現に向けた研究会 中間報告書

外需獲得、地域経済牽引や賃上げに特に大きな役割を果たす「100億企業（売上高100億円以上など中堅企業クラスに成長する中小企業）」に注目し、実際の成長企業の事例等から、中小企業の飛躍的成長のパターンを整理しています。

3. 中小企業・小規模事業者人材活用ガイドライン

経営者に日々の経営課題の背景に、中核人材の採用、中核人材の育成、業務人材の採用・育成の3つの人材課題（3つの窓）が潜んでいないか確認してもらい、それに対する具体的な対応策や支援策を紹介する「中小企業・小規模事業者人材活用ガイドライン」を取りまとめています。

5. 経営力再構築伴走支援ガイドライン

事業者の本質的課題に対する経営者の気づきや腹落ちを促すことで内発的動機付けを行い、事業者の能動的行動や潜在力を引き出して自己変革や自走化につなげる支援方法で、経営力再構築伴走支援の基本理念や具体的な支援の進め方、意点等を実際の支援事例や効果的なノウハウ等が掲載されています。

2. 中小企業のイノベーションの在り方に関する有識者検討会 中間取りまとめ報告書

イノベーション活動に取り組んでいる企業の75%が利益につなげられずにいます。本報告書では、成長を目指す中小企業が取り組む破壊的イノベーションに向けて、課題や必要な取組について整理されています。

4. 中小エクイティ・ファイナンス活用に向けたガバナンス・ガイドライン

エクイティ・ファイナンス活用の利点や留意点を紹介するとともに、エクイティ・ファイナンス活用により成長を図るために有効と考えられる経営の在り方や仕組みを「ガバナンス」と整理し、事例や具体的な取組例とともに紹介されています。

詳しくは
 経済産業省HPを
 ご確認ください。



ワンポイント 健康コラム

<<夏の食材>>



夏到来!

日光の照射時間が長くなる夏は、みずみずしい果物が旬を迎え、美味しく食べられる季節です。

旬の果物には、体内に溜まった余分な水分を排出してくれるカリウムや、疲労を軽減してくれるビタミンCなど、さまざまな栄養が豊富に含まれています。夏の果物は体の熱を冷ます作用があるので、暑い季節にはびっりの食べ物だと言えます。また夏に旬を迎える魚介類は、タンパク質が豊富で栄養価が高く、疲労回復や夏バテ予防に効果的だと言われています。



【旬の果物】

- ・ブルーベリー ・ラズベリー ・キウイフルーツ
- ・マンゴー ・桃 ・グレープフルーツ
- ・レモン ・オレンジ ・ブドウ
- ・洋ナシ ・イチジク など



【旬の野菜】

- ・レタス ・ロメインレタス ・セロリ
- ・ナス ・オクラ ・ミョウガ
- ・キュウリ ・ズッキーニ ・トマト ・ピーマン
- ・パプリカ ・ゴーヤ ・アスパラガス
- ・スイカ ・かぼちゃ ・枝豆 ・そら豆
- ・さやえんどう ・いんげん ・スナップエンドウ
- ・玉ねぎ ・じゃがいも ・にんじん
- ・とうもろこし ・にんにく ・しょうが



【旬の魚介類】

- ・カツオ ・サケ ・カレイ
- ・ウナギ ・タチウオ
- ・スズキ ・アジ ・キス ・アユ ・ハマ
- ・マゴチ ・タコ ・クルマエビ
- ・岩ガキ など



経理マンが行く

備え

地震への備えは足りていますか？

いつ起きてもおかしくないと言われる南海トラフ巨大地震。

東日本大震災から10年以上の月日が経ち防災への意識も少々薄れていませんか？子どもの防災に視点を置いた記事が子ども支援専門の国際NGO「セーブ・ザ・チルドレン」のホームページに記載がありましたので引用させていただきます。



ちなみにセーブ・ザ・チルドレンは、子ども支援活動を行う、民間・非営利の国際組織で日本では、1986年にセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが設立され、国内外で、行政や地域社会と連携し、子どもたちとともに活動を行っています。東日本大震災や熊本地震における緊急・復興支援を通して、子どもの権利を実現する活動を行っています。

>>>> 子どもの視点をとり入れた防災

■子どもと一緒に家をチェックしよう

大人目線で家の中の家具や家電の転倒、落下防止の対策をしていますが、背の低い家具の転倒や低い位置に置いてあるものの落下、その他にも子どもの目線で見ると、まだまだ危ないところがある可能性もあります。



■避難場所や経路・方法を確認しよう

避難場所や、そこまでの道のりなどを、子どもと一緒に確認して、実際に歩いてみましょう。実際に歩いてみた後、もう一度家族と話し合って避難ルートを決めましょう。

■子どもの避難リュック(非常用持ち出し袋)を用意しよう

子どものための避難用リュック(非常用持ち出し袋)も、子どもの視点に立って準備しておくことが重要です。

■避難生活のおもちゃなどの遊び道具を用意しよう

避難生活など普段と異なる環境で制限が多い生活の中で、子どもが、自分で遊びを選ぶという小さな行為も、子どもの情緒の安定につながります。



■避難先で役立つ工作を知っておこう

新聞紙や裏紙、段ボールなどは比較的手に入りやすいと思います。そういったものを活用して、子どもと一緒に工作をしてみるのはどうですか。

災害時、子どもは特に脆弱です。子どもは年齢によって直面する困難や危険も異なりますし、災害時の混乱などの中で、身体的虐待、性的虐待、ネグレクトなどの被害に遭う危険性も高まります。大人も同じように不安を示しますが、子どもの方が生きている年数や経験が少ないため、1回の体験への印象がより際立ち、再び、自分の大切な人や自分自身が傷ついたり、離ればなれになったりしてしまうのではないかと不安が非常に強くなります。いつも以上に子どもの様子をしっかりと見守り、子どもが安心できるよう手助けしたり、子どもの話しに耳を傾けたりするようにしてください。

